

民衆の声
ボイス

No.84

公明党 横浜市会ニュース

VOICEよこはま

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060

「横浜市国際平和の推進に関する条例」を提案します。

昨年3月、公明党横浜市議団がリードし、横浜市会は全会一致で「核兵器のない世界の実現を強く求める決議」を行い、横浜市民の総意として核兵器禁止条約交渉会議にこの決議文を届けました。また、本年2月には平和首長会議の小溝事務総長による国際平和講演会が横浜で開催されました。



《平和首長会議 小溝事務総長(右から5人目)とともに 2月3日 JICA横浜にて》

国による外交活動だけでなく、地域や市民による平和への活動や国際交流、国際協力、多文化共生などの取組が、世界の平和と安定に貢献します。横浜市そして横浜市民が培ってきた国際平和推進の取組を次の世代へ確かなものとするために条例を提案するものです。市民意見募集後、いただいたご意見を反映した条例案として5月から始まる横浜市会第2回定例会での成立を目指しています。



Greece. Thousands of refugees mainly from Iraq and Syria are stranded at the village of Idomeni near the Greek - FYR of Macedonia border.

世界の平和を進めるため、 ヨコハマに 何が出来るか。

横浜市国際平和の推進に関する条例(案)へのご意見を募集しています。

ご意見募集期間 3/24(土) ⇨ 4/21(土)

「横浜市国際平和の推進に関する条例(案)」を議員提案し、5月から始まる第2回定例会での成立を目指しています。市民の皆さんからいただいた貴重なご意見は、条例案に適切に反映してまいります。

【募集要項】

- 提出書式:年齢、性別、区・町名を明記の上、ご意見をお寄せください。書式は自由です。
- 郵送の場合:横浜市会「横浜市平和推進条例(案)」係と明記の上、〒231-0017 横浜市中区港町1-1まで
- FAXの場合:「横浜市平和推進条例(案)」係(下記のいずれかにお送りください)
自由民主党横浜市議員団 045-681-1530 民進党横浜市議員団 045-681-2410 公明党横浜市議員団 045-681-2060
- 電子メールの場合:comment@peaceyokohama.comまで
- ホームページ: http://peaceyokohama.com からのご意見をお寄せいただけます。

●いただいたご意見は、個人情報を除きホームページ等で公表する場合があります。
●個人情報の保護は適切に行い、目的外に使用いたしません。
●ご意見に対する連絡の回答はいたしませんのでご了承ください。

いざという時に備える！ 高齢者見守りホルダー

「見守りキーホルダー」の登録受付・配布を開始！

平成27年度から行ってきたモデル実施をふまえて、神奈川区では区内全ての地域ケアプラザ・地域包括支援センターにおいて、65歳以上の希望者に、徘徊や外出時にもしものことがあった場合でも迅速に身元確認や緊急連絡先への通報が

できるよう、登録番号が記載された「みまもりキーホルダー」の登録受付・配布を開始しました。これにより、外出先での体調急変時や認知症による徘徊で身元がわからない場合などに、保護・救急搬送する警察関係者や救急隊が地域ケアプラザ等に登録情報を照会し、速やかにご家族等へ連絡することができます。



神奈川区政務調査会
公明党横浜市議員
たけうち
竹内やすひろ

国・県・市の公明党のネットワークで 鉄道駅のホームドアを整備

国・県・市の公明党のネットワークで継続して、取り組んでいる鉄道駅のホームドアの整備。横浜市では平成26年度から、鉄道事業者の可動式ホーム柵等の整備に対して、補助金交付による支援を行っています。

この事業の補助の対象は1日あたりの駅乗降者数が10万人以上の駅、及び「市長が必要性を認める駅」において鉄道事業者がプラットホーム上に整備する可動式ホーム柵等となっています。横浜市会平成30年度第1回定例会においても、市長に対して質問をしました。また、平成30年度の予算要望書としても市長に提出しています。

東急東横線《妙蓮寺駅》のホームドアが完成

妙蓮寺駅は1日あたりの乗降客数が約25,000人ですが、近隣に横浜盲特別支援学校があり、「市長が必要性を認める駅」として補助対象となりました。3月29日に視覚障害者施設の最寄り駅として、横浜市最初の完成駅となりました。



市民相談 神奈川区大口通127-16 コスガビル1F
横浜市議員 竹内 やすひろ

TEL.045-716-6822 FAX.045-716-6823
E-mail:mail@takeuchi.180r.com

トピックス最前線

公明党のネットワークの力で実現 「国会中継」字幕放送へ!



2月26日、佐々木さやか参院議員とともに横浜市中途失聴・難聴者協会の会長さんらと意見交換を行いました。

その際、NHKの国会中継における字幕対応がほしいとの要望をいただきました。早速、佐々木さんは、3月5日国会で質問に立ち、国会中継の字幕放送を早期に行うよう求めました。その後、22日の衆院総務委員会で公明党の質問に対して「所信表明演説など、できるだけ早く字幕付与できるように進めたい」との答弁を得ました。

ピンクシャツデー2018in神奈川



ピンクシャツデーは2007年にカナダから始まったいじめ反対運動です。ピンク色のシャツを着た男子生徒がいじめに遭ったのを見た先輩が、「皆でピンクのシャツを着よう!」と呼びかけ、多くの生徒が賛同。学校中がピンクに染まり、まもなくいじめがなくなりました。2月の最終水曜日を「ピンクシャツデー」としたことから、現在は70カ国以上で活動が行われています。

2月28日の市会予算特別委員会では多くの議員が、運動への連帯の思いを込めて、ピンクシャツを着て審議に臨みました。

平成30年度予算特別委員会の論戦から

横浜市の平成30年度予算が成立しました。予算特別委員会など、議会における議論を通して公明党横浜市議団の主張が大きく反映されました。多くの議会質問の中からいくつか紹介します。

建築局 「市営住宅の住替え希望に配慮」

竹野内 猛 (金沢区選出)
高齢化に伴い増加する高層階から低層階への住替え希望に対して、住替えが進むための制度の改善など、一層の努力を要望しました。

局長は、住替え住戸の希望先の受付を棟ではなく行政区単位とするなど、円滑な住替えの促進を検討すると答えました。

都市整備局 「京急線横浜駅・上大岡駅の可動式ホーム柵の早期整備へ」

安西 英俊 (港南区選出)
これ以上の痛ましい事故が生じないよう一日も早い京急線横浜駅・上大岡駅の可動式ホーム柵の整備について質問しました。

局長は、両駅ともに30年度からホーム補強工事に着手との答弁があり、副市長からは、1年前倒しの31年度に設置完了の見込みと答えました。引き続き推進します。



資源循環局 「福祉とのつながりの取組について」

源波 正保 (泉区選出)
3R夢プラン次期計画案にある「福祉とのつながり」の具体的な取組について質問しました。

局長は、「ふれあい収集」や「ごみ屋敷」対策、更に障害者に寄り添った分別の支援や福祉施設と連携した取組等を取り入れる。また、地域ケアプラザ、社会福祉協議会等と情報共有し、地域の福祉的ネットワークとの連携にも取り組むと答えました。

市民局 「本牧市民プールの再整備」

福島 直子 (中区選出)
平成34年度の再オープンを目指し、屋外プール再整備と共に敷地内に民間施設の誘導を図る計画です。そこで、利用料金、市民意見の聴取、周辺施設と連携した取り組みの3項目について質問しました。

局長は、家族揃って利用できるような料金設定、近隣や利用者対象の説明会で意見を聴取、周辺公共施設と連携し魅力ある施設を検討すると答えました。



文化観光局 「ユニバーサルツーリズムの推進」

和田 卓生 (旭区選出)
障がいのある方に配慮した観光を振興するためには、トイレや道路などの現状と当事者のニーズを把握する必要がありと質問しました。

局長は、ユニバーサルツーリズムの推進には、当事者や関係者の方々の視点が必要。障がいのある方や高齢者が参加するモニターツアーで、点字ブロックや道路の段差などの状況を把握し、障がい者団体等にヒアリングをすすめることと答えました。

こども青少年局 「子ども食堂とフードバンクの連携」

仁田 昌寿 (南区選出)
子ども食堂等に対する支援として、民間のフードバンクとの連携を進めるべきと提案しました。

局長は、30年度に、子ども食堂とフードバンクや農家等をつなぐ支援を試行的に実施し課題と対応策を整理することで、地域の子どもの食堂が、安定的に食材を確保できる仕組みづくりを検討すると答えました。今後とも、子ども食堂の取組みを推進します。



教育委員会 「持続可能な開発目標(SDGs)達成のための教育」

加藤 広人 (磯子区選出)
持続可能な開発目標(SDGs)達成の鍵を握るのは教育であり、教育研修の充実やユネスコ等の関係期間と連携を図り、市を挙げて推進すべきと提案しました。

教育長や副市長は、横浜のみならず日本の将来のために必要なこととあり全力で推進していくと答えました。

医療局 「アレルギー疾患医療の更なる推進を」

斉藤 伸一 (保土ヶ谷区選出)
みなと赤十字病院のアレルギー疾患医療の推進について質問しました。

副市長は、①アレルギー疾患対策は、市として非常に重要な取り組みであり、みなと赤十字病院は、中核的な機能を担っている施設である。②都道府県アレルギー疾患医療拠点病院に選定され、さらなる機能の向上は、市にとって大いに意義があるの、しっかりと取組むと答えました。



健康福祉局 「認知症グループホームの整備」

竹内 康洋 (神奈川区選出)
認知症高齢者グループホームの整備と利用する低所得の高齢者への負担軽減策について質問しました。

局長は、現行計画の倍増となる年間225人分の整備を計画。また、居住費等に対する助成を、これまでの29800円から、所得の状況に応じて、最大55000円へ拡充すると答えました。費用が安いという理由で、特養を選んでいる方も自分に合った施設を選べるようになります。



総務局 「横浜市の障がい者雇用」

中島 光徳 (戸塚区選出)
地方自治体として、障がいのある方の雇用を率先して進めなければならぬと認識をしております。

局長は、30年度に向けては、知的障がい者の採用枠の拡大や、精神障がい者の嘱託採用を新たに実施し、採用予定を当初より増やし、引き続き受入職場を拡充し、障がいのある方の活躍の場を広げ、各任命権者と連携して採用活動に取り組んでいくと答えました。

環境創造局 「下水管の安全な維持管理」

行田 朝仁 (青葉区選出)
市民生活にとって空気のようなインフラである下水管の維持管理、道路陥没などの事故防止策について質問しました。

局長は、最新技術の導入などを図り、スピード感をもって進めると答えました。引き続き、より快適で安全な市民生活を目指して取り組みを進めます。

水道局 「工事施工時期などの平準化」

加納 重雄 (瀬谷区選出)
公共工事の発注時期や工期が偏っている、経営の障害になっているとの声があり、水道局における施工時期等の平準化の取組について質問しました。

局長は、「発注時期の分散」や「早期発注」、「年度を跨ぐ工事発注」を推進すると答えました。これにより、企業経営の健全化や労働者の常時雇用・処遇改善、機材確保などの効果が期待できます。

